

筑波大学附属病院放射線診断・IVR科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

後期研修医（S1・S2・C1・C2・CF）の期間で、放射線科専門医と放射線診断専門医が取得できるプログラムである。

後期研修のはじめの3年間は、CT・MRI・US・消化管造影・IVR・小児・核医学・治療などの基礎的知識を学ぶ（丁寧な指導医の支援と専門医取得に必要な豊富な症例）。放射線専門医取得後は、本人の趣向や将来の専門性によって研修内容・研修先を本人と相談して決定する。

<研修例>

初期研修
放射線科専門研修
放射線診断専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠（義務年限9年間）

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	B1(CT・MRI・US・治療)	B2 (IVR含む)	A1	A2	A3	A4	A5
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)	(義務年限修了)

ケース2	初期研修 (医師不足地域内1年・ 医師不足地域外1年)	B1(CT・MRI・US・IVR)	C1 (小児・治療)	B2	A1	A2	A3	A4	A5
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)		(義務年限修了)

(2) 一般修学（義務年限6年間）

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	B1(CT・MRI・US・治療)	A1	A2	A3	C1 (小児：半年)	B3
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	B1(CT・MRI・US・IVR)	C1 (小児・治療)	A1	A2	A3	B2
					(放射線科専門医取得)		(放射線診断専門医取得)
					(義務年限修了)		

【放射線診断・IVR科専門研修研修病院群】

基幹病院	
A群病院群（医師不足地域内病院）	茨城県立中央病院・日立総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター（主に筑波大学附属病院）
C群病院群（県外・海外病院）	埼玉県立小児医療センター・聖路加国際病院